

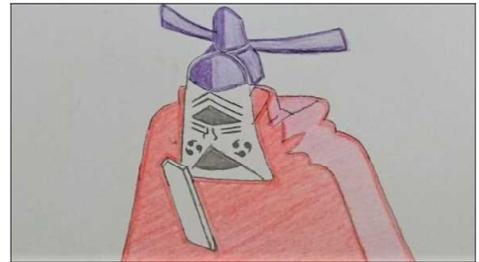


# 10月

10月に入って、すでに半分が過ぎようとしています。今年度も残り半年と書いていたら、すでに5ヶ月半。月日が過ぎるのは、本当に早いものです。さて、10月は旧暦では「**神無月（かんなづき）**」と呼ばれていました。全国の神様が出雲（いずも）の出雲大社に集まって一年の事を話し合うため、出雲以外には神様がなくなる月ということから神無月と言われているようです。出雲では神様がいますので「**神在月（かみありづき）**」と呼ばれてきました。ただし、村や家に留まる田の神や家の神などの留守神は出雲に行くわけではないようです。田や家など、守っていてほしい神は常に近くにいたということですね。

さて、ここでクイズです。日本にはどれぐらいの神様がいますか、御存じでしょうか。御家族で話題にしていただけたら良いかと思います。【次号で解答します。】

昔から自然の中のものや人間ではどうしようもできないことなどは、すべて神様の力によるものとされました。人間の小ささをしっかり受け止め、自然の恵みをいただいて生きていくために、自然や様々な現象について畏敬の念を抱いて生活してきたのだと思います。日本人独特の考え方ですね。



## 情報モラルについての授業



本校は、表郷小学校と一緒に福島県教育委員会の「次世代のためのメディアリテラシー育成事業」で指定校となっています。今年度は、保護者の皆様や生徒、教職員にアンケートして分析したり、授業研究を進めたりしています。

10月4日(月)、本校で授業研究会を実施しました。3年1組の郷田剛先生の「学級活動」の授業でした。この授業では、「自分が嫌なことと他の人の嫌なことは違う」ということを実感するという内容でした。SNS上でのトラブルは、人の思い込み

から起こると言われています。これは、SNS上だけではなく、日常の生活でも同じようなことが言えます。今回の授業では、5枚のカードを見て、自分が嫌な順から並べるといったものでした。「すぐに返信がない。」「なかなか会話が終わらない」「知らないところで自分の話題が出ている」「話をしている時にケータイ・スマホをさわっている」「自分が一緒に写っている写真を公開される」の5枚のカードでした。並べてみると、人によってかなり違うことがわかりました。友達が自分と違うことに気づいて「はっ」とした生徒もいたようです。上記の内容で、「家族でも嫌なこと」として御家庭でも話題にしてみてもはどうでしょうか。